

R·O·M シャッタ シリーズ III

取付説明書

R·O·M ロールアップ・シャッタをお買い上げ戴いて有り難うございます。

この説明書をお読みになり、説明書に従って注意して作業を行ってください。

以下のパーツとツールがシャッタを取付けるために必要です。
これらは支給される部品には含まれないので注意してください。

- ・ ドリップレールとトラックの取付けネジまたはビス
(六角頭タップネジ #10 或いは板金タップビスが推薦されます)
- ・ ドリル
- ・ ドリルビット - #29、11/64"、3/16"、3/8" 及び1/2"
- ・ 屋内/屋外用透明シリコンシール
- ・ ネジ回し - フィリップス
- ・ 配線カッター
- ・ 配線クリップ
- ・ 巻き尺
- ・ マーカーペン
- ・ 3/16" ポップリベット用リベットガン
- ・ ゴムハンマ
- ・ プライヤ/万力
- ・ パワーロックの場合は、車両配線への 20ゲージ配線を接続する配線ジョイントか、
あるいはコネクタを使用しない場合は半田小手
- ・ パワーロックの場合は、ロック入力用センター位置付 1 極スイッチ (ON) - OFF - (ON)

概要

R·O·M ロールアップ・シャッタの取付けを問題なく行うためには、次の手順に従ってください：

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1) 梱包を解く | 8) LED 照明灯 |
| 2) 取付け前の穴あけ作業 | 9) パワーロックの取付け |
| 3) シルプレートの取付け | 10) トラックの取付け |
| 4) ペナントプレートの取付け | 11) ドリップレールの取付け |
| 5) 巻取りドラムの取付け | 12) ドリップパンの取付け |
| 6) シャッタカーテンを掛ける | 13) 引下げロープの取付け |
| 7) ストラйкаブロックの取付け | 14) ドア開閉のテスト |

1. 梱包を解く

- a) 梱包を解いて、慎重にパーツの全てを並べてください。シャッタの巻きを解いたらスラットの仕上げ面を傷つけることの無いように、滑らかなで綺麗な柔らかい面に置いてください。
- b) 組立図に示される全てのパーツが有ることを確認してください。

2. 取付け前の穴あけ作業

取付け作業前にボデーに全ての穴を開ける場合は、以下の指示に従ってください。
もし事前に穴あけ作業を行わない場合は、部品を取付ける時に穴あけを行ってください。

テンプレートを使用して穴あけ

- a) テンプレートを使用して穴あけを行う場合は、トラック、ペナントプレート、そしてドリップレールの穴をこの時にあけてください。

ドアパーツを使用して穴あけ

- a) 室内を見て、図1で示すように室内の右上にペナントプレートのラベルRが見えるように置いてください。室内の上面と同一になるように、また車両の外表面より 41mm の位置であることを確認してください。オプションのドリップパンを取付ける場合は説明書の12項を参照してください。
- b) ペナントプレート4ヶ所の 4.3mm 穴にドリルを合わせてください。
注：後部巻取りの場合は更に別の穴が必要です。
- c) ヘッダと室内床の間にトラックを置いてください。トラックの底が室内の床に接触していることを確認してください。（図2）この時フランジ仕上げ面が車両の外表面と同一面になります。オプションのトラックは図2aに示されます。

注：シルプレートを取付ける場合は、トラックをシルプレートの上にセットするか、穴をあける前にトラックを室内床から 3mm 上げてセットしてください。

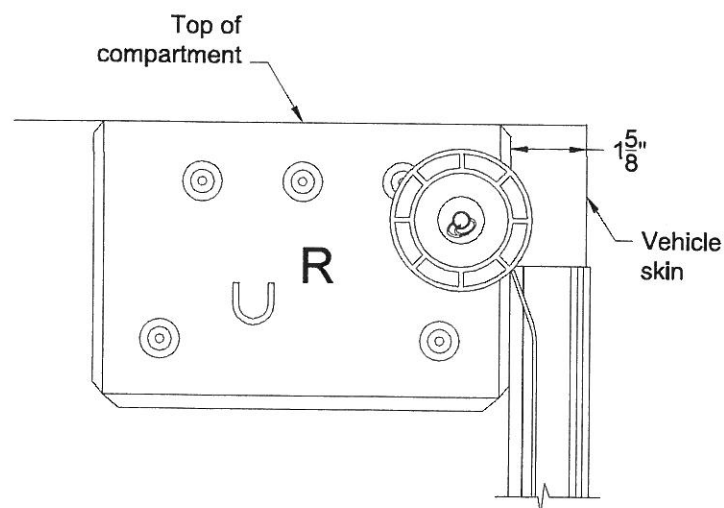


Fig. 1

- d) 予め穴をあけたトラックを注文した場合は、トラックにある溝の穴に合わせて 4.3mm のドリルを車両本体にあけてください。
- e) オプションの手動ロックが含まれる場合、ロックロッド用に車両のサイドに 9.5mm の穴にドリルを合わせてあけてください。トラックに予めあけられたドリル穴をガイドとして使用してください。
- f) ドリップレール／トップシールの基部をヘッダと同一面に合わせ室内開口部のセンターに置いてください。両端はトラックのフランジ仕上げ外面と同じ位置になります。
- g) ドリップレールの取付けに必要な場所に穴をあけてください。取付けビスの最大長さは 9mm です。ドリップレールの取外しが簡単にできるように六角ネジを推奨します。ネジを取付ける時はドリップレールのセンター溝を使ってください。

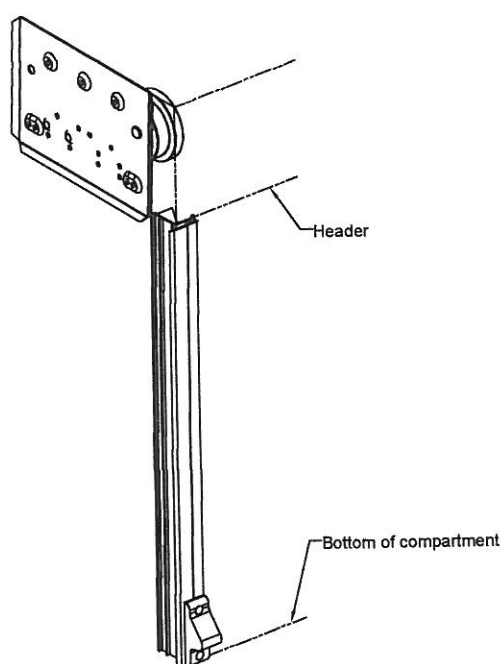
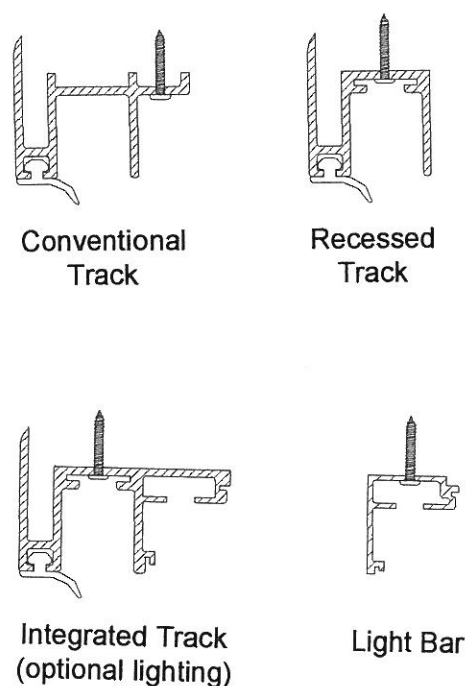


Fig. 2



9 項までドリップレールを取付けないでください！

3. シルプレート取り付け(オプション)

- a) 室内床の中央にシルプレートを置いてください。ノッチは図 3 で示すように上に向けます。
- b) 室内の床がきれいなことを確認してください、そしてシルプレートに付いている接着テープから保護部を取り除いて取付けてください。

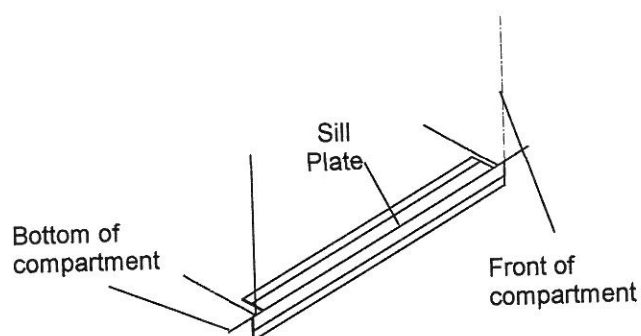


Fig. 3

4. ペナントプレートの取付け

- a) ペナントプレートを取付けてください。室内で巻取ドラムが水平になっていることを確認してください。
- b) オプションのドリップパンを取付ける場合は、説明書の12項を参照してください。

5. 巻取りドラムの取付け

- a) ペナントプレートのUブラケットの上に巻取ドラムのシャフトを置いてください。図4で示すように室内を見てラベルが右に来るようにしてください。
- b) 図5で示すようにストラップを掛けてください。ストラップは巻取ドラムの直径を約1回と1/4回転し、約127mm程たれ下がります。
- c) 両方のUブラケットにスプリングリテーナを挿入してください。

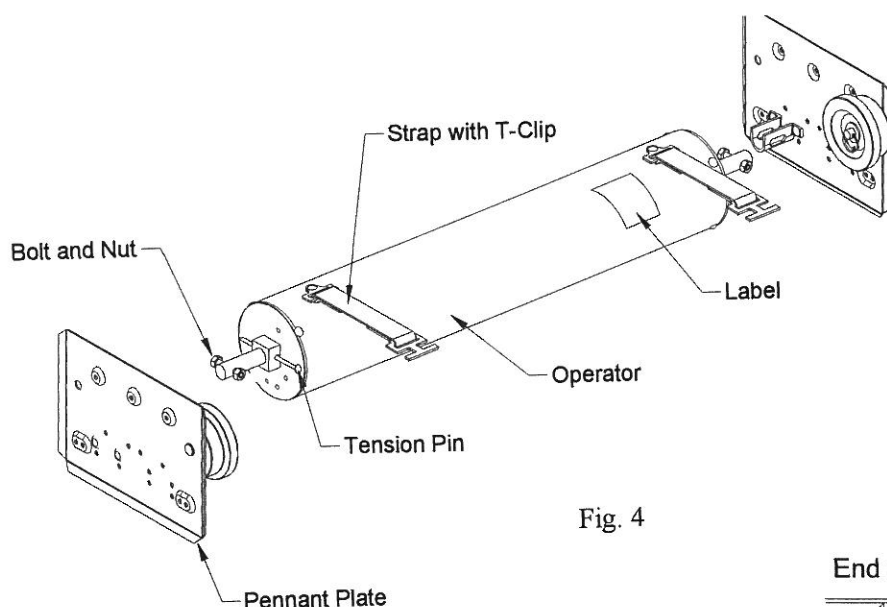


Fig. 4

6. シャッタカーテンを掛ける

- a) 図5で示すようにナイロンローラと巻取りドラムの上にシャッタのスラット先端を送っていく。カーテンが巻取ドラムの後ろに垂れ下がるようにしてください。ボトムレールがヘッドに当たった位置でカーテンは重力により垂れ下がりが保持されます。
- b) 図に示されるカーテンの位置で、先端スラットの溝にT型クリップを入れ固定してください。
- c) 巻取ドラムを時計回りにわずかに回しテンションピン（釘）を取外してください。更にゆっくり逆方向に回してボトムレールのバンパーがヘッドに当たるまで完全にシャッタを開きます。

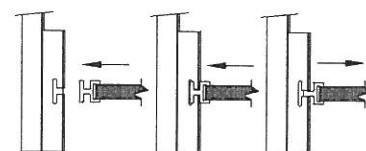
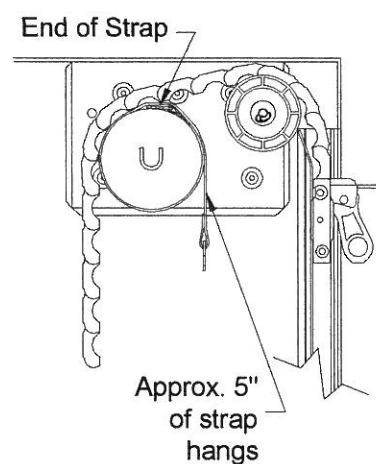


Fig. 5

7. ストライカブロックの取付け

取付け穴が用意されていない場合、標準ボトムレール（図7）ではストライカーブロックの底とトラックの下端を合わせ、延長ボトムレール（図7a）では底をトラックの下端より 12mm 上げ、幅広ボトムレール（図7b）ではストライカーブロックの底をトラックの下端より 38mm 上げて取付けてください。2つの 4.7mm の穴にドリルを合わせ、トラックにストライカブロックを支給されるリベットにより取付けてください。ドア開放検出システムが必要な場合は、上部の取付け穴より 13.5mm 下がったところに配線を通す 12.7mm の穴を開けてください。全ての穴は傷等がないこと。

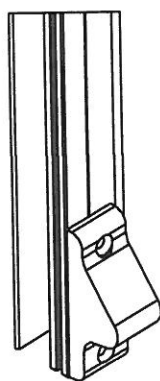


Fig. 7

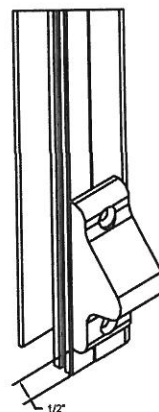


Fig. 7a

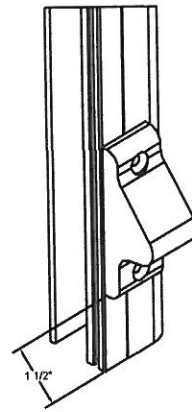


Fig. 7b

ドア開放検出システムが無い場合 (D. A. S. S.)

- a) ストライカブロックをトラックにリベットで取り付ける。

ドア開放検出システム付の場合 (D. A. S. S.)

- a) スイッチを適切な側のトラックの取付ける；配線の自由端をトラックの中央の穴を通し、さらに 75mm の長さのスリーブを通して滑らせて送ってください。75mm のスリーブを半分ほどD形の穴に挿入してください。スリーブをその位置で持ちながら配線の絶縁を傷めないように、スリーブを通して配線を引っ張ってください。スイッチを取付けた後、配線がトラックから出るところに配線を滑らしてください。修理時に使用する余裕配線は配線がトラック内で Z形になるように押し込むようにしてください。スイッチ配線は、トラックの上部あるいは下部の配線取出しより出します。（ドアフレームに配線する時は付属の説明書を見てください。）

注：取付ける間、トラックの配線を保持するために、仮止め紐またはテープを使用してください。

ドアフレームにそって配線を通す：

- ・ トラックの上の配線と同じ高さに配線を送るために、ドアフレームに 1.7mm の穴を明けてください。穴はバリが有ってはいけません。それから、引っ張るときに配線を保護する場所に保護用スリーブが位置することを確認しトラックをセットしてください。
- b) 2つ目のストライカブロックあるいはドア開放検出スイッチを反対側のトラックにリベットで取付けてください。
- c) 室内照明灯を取付ける場合は8項へ進んでください。それから、図8に示される配線図に従ってスイッチ配線をしてください。
- d) 電源を入れて正しく機能するかシステムをチェックしてください。

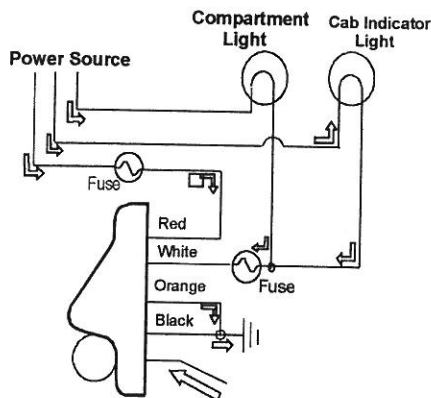
(正しい配線)

電源から照明灯、ソリッドステート・スイッチ
を通してグラウンドに落ちます

スイッチ構成

表示灯は 12-24VDC 8A (最大) に配線

(電源が 11V 以下ではスイッチは
正常に作動しません。)



黒／白 線

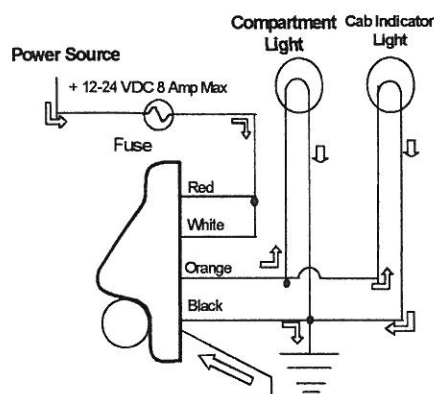
マグネットが外されると
スイッチがグラウンドに落ち
0.5A (最大) まで供給します。

電源からソリッドステート・スイッチ
照明灯を通してグラウンドに落ちます

スイッチ構成

表示灯はグラウンドに配線されます。

(電源が 9V 以下ではスイッチは
正常に作動しません。)



黒／白 線

マグネットが外されると
スイッチがグラウンドに落ち
0.5A (最大) まで供給します。

配線テスト手順：

この装置はソリッド・ステートの出力スイッチを備えおり、極性が重要です。装置への損害は、配線を間違っ
て接続する追加配線から発生する場合があります。

正しい取付が行われたかどうかを判断するためには、ドアが閉まった時にリフトバーが入るドア開放検出ス
witchに磁石 (R-O-M Part # R00011 または強い磁石) を当てドアスイッチの機能を確認してください、ドアが
開いているときは室内照明は点灯しなければなりません。したがって、磁石が開放検出スイッチと接触した時
には室内照明灯は消灯しなければなりません。磁石が開放検出スイッチと接触しても室内照明灯が点灯して
いた場合は、白とオレンジの配線接続を逆にし、そして上記の手順を繰り返してください。それでも正しく動作
しない場合は、配線接続を再確認し正しい配線にしてください。

オプションの出力

新しいスイッチは、室内照明灯と車両キャブ内のドア開放表示灯の両方を同時に作動できる一つの出力を持っ
ています。キャブ内にどのドアが開いているかを示す複数の表示灯を備える場合、新しいデザインでは部品を
追加するとか改造することなしに行うことができます。これは、ライト直接配線する白線入りの黒線を使用し
て行うことができます。；もし電流が 0.5アンペア以上の場合は、この配線をユーザーが用意するリレーや電
気制御装置を駆動するために使用することが必要です。

8. LED 照明灯 (オプション)

注：LED V2 については別の照明灯取付説明書を参照してください。

9. パワーロックの取付け (オプション)

- a) もし工場でパワーロック装置を取付けていない場合は、トラックに取付けてください。トラックには取付け穴があげられておりパワーロック装置用の溝が設けられています。ロック装置を 4.7mm のリベット (図 16) で取付けてください。リセストラックの場合はパワーロック装置用の取付けブラケットが用意されています。
- b) 取付け後にロックの歯止めが自由に動くことを確認してください。
- c) 間違いの無いように取付けてください。トラックの真後に取付けることを推奨します。配線を傷つけ無いようにパワードア制御モジュールへのパワーロック装置配線を行ってください。パワーロック装置の淡緑とオレンジ配線をパワードア制御モジュールの淡緑とオレンジ配線に接続してください。2つのロックを使う場合は、一緒にすべての配線を接続してください。下の配線図を参照してください。

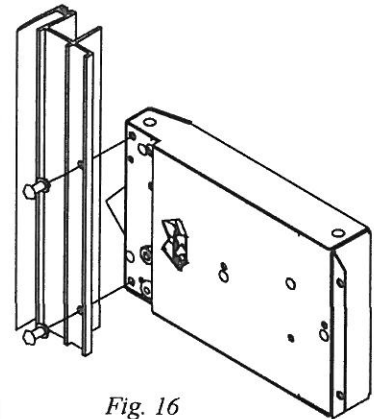
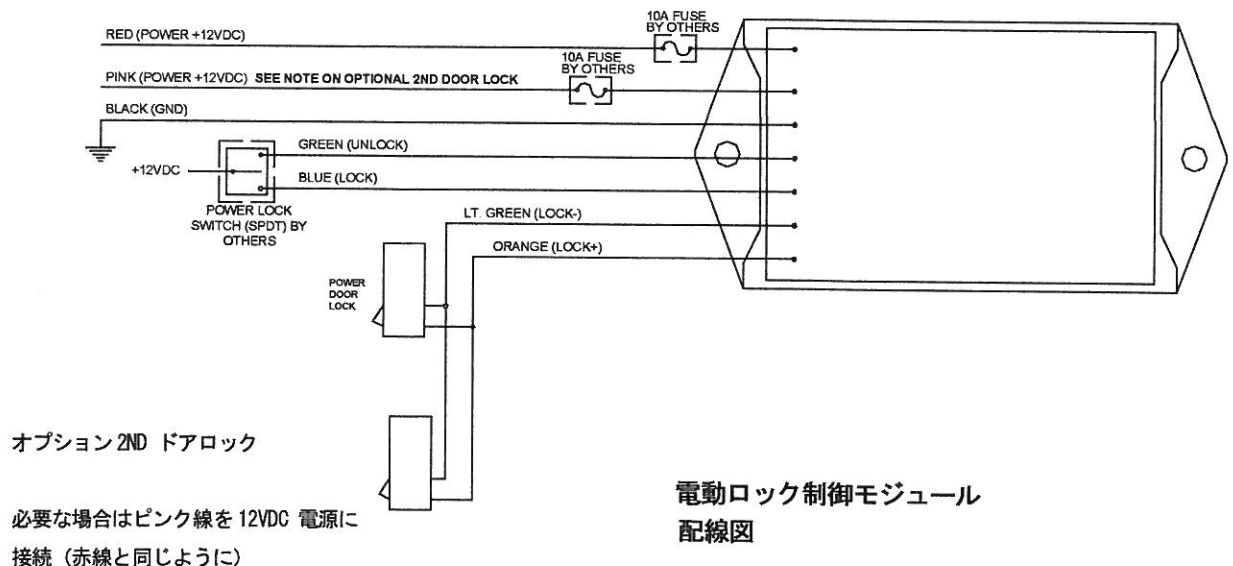


Fig. 16



オプション 2ND ドアロック

必要の場合はピンク線を 12VDC 電源に接続 (赤線と同じように)

注意：制御モジュールが2つのパワーロックを動作させる場合はピンク線のみを使用すること。

この線が 2ND ロックなしに使用されていた場合は、ロックモジュールは損害を受けます。もしピンク配線が使用されていない場合は配線バンドに留めて、先端を保護してください。

手動操作の方法：

- a) 手動でロックを外す：パワーロック操作でロックする場合に、手動でロックを外せることを確認してください。電源が落ちた場合、或いはロックが故障した場合でもキーを解錠位置に回せばパワーロックを解除することができます。ドアが 12mm 程上がった時キーは回ってロック位置に戻ります。ドアが降ろされた時は自動的にロックが掛かります。
- b) 手動でパワー・ロックをロックする：車両の電源が落ちた場合でも解錠位置からロック位置までパワーロックは手動で操作することができます。この手順は、ロックスイッチをロックの位置にしたにも関わらずロック爪がトラックの中に見えない場合で、室内をロックされなければならない時にだけ行うことができます。パワーロック室内には2つの小さな穴があります。下の穴に小さな直線ドライバーを約 25mm 挿入してください。ロックに挿入された先がドアトラックからさらに離れるようにドライバーに角度をつけてください。トラックの開口部に伸びるまでロックの爪を慎重に前へ動かしてください。ドアが降りてきた時ドアは自動的に爪でロックします。そして電源が復旧するまでキーでロックも解錠もできるようになります。

10. トラックの取付け

- a) ボトムレールを外側に傾けている間にトラックを入れてください。

注意： ドア開放検出スイッチの配線がトラックの中に正しくしまい込まれてない場合は、配線は簡単に傷つきます。7 項の配線説明を参照してください。

- b) トラックを車両本体の方向へ回して推薦された止め金具で止めてください。
- c) 水に強い開口部にするために、トラックとシルプレート（オプション）そして室内の間をシールするためにシリコンシーラントを使ってください。室内開口部の下と正しくシールされていない場合は、ストライカーブロックの下あるいは DASS またはトラックの下回りにシリコンシーラントを塗布してください。
- d) シルプレートに最も近いサイドシールはシルプレートと接触するように組み込まれてなければなりません。シールを短く切りすぎないように注意してください。これはここから水が入る原因となります。
- e) シャッタとは別に注油説明が記載されたラベルが送付されます。室内が装備で一杯になった状態でも最終ユーザーがそれを見ることができる場所に取付けてください。

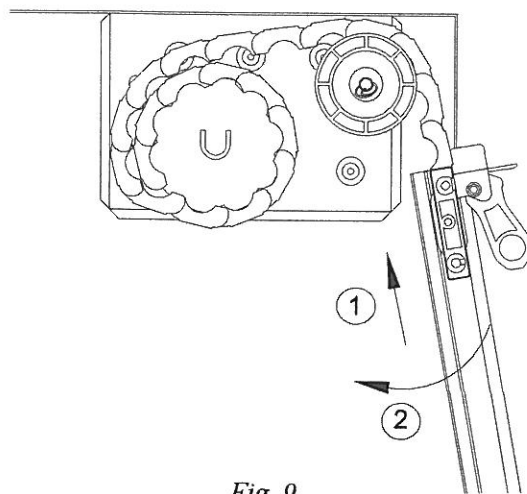


Fig. 9

11. ドリップレールの取付け(オプション)

- a) ヘッダ高さに合わせてドリップレール/トップシールを室内開口部センターに置く。両端はトラックの仕上げ外面に対して左右均等になるようにする。
- b) サイドシールの間に合うように余分な両端のトップシールを切ってください。
- c) 前に説明したように正しいネジを使ってヘッダにドリップレールを取付けてください。ネジがシャッタの操作の邪魔をしないように、またウエザーストリップを傷つけないようにしてください。
- d) 柔らかいゴムハンマーまたは保護布と金属ハンマーを使って、ドリップレールカバーを正しい場所に軽くたたいて入れてください。それから同じ器材を用いて、ドリップレールの両端にエンドキャップを押し込んでください。

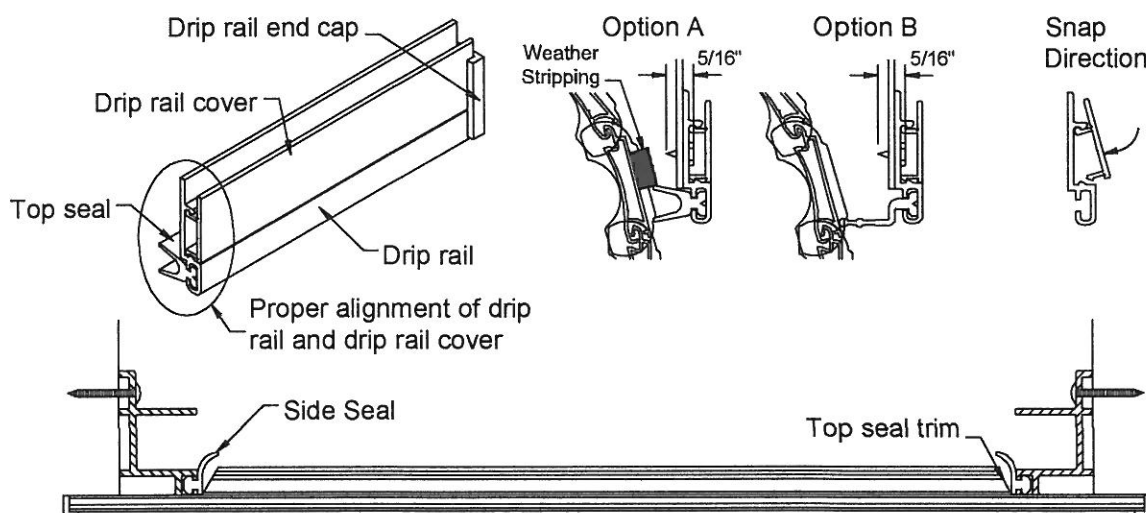


Fig. 12

12. ドリップパンの取付け(オプション)

- a) 4項の説明に従ってドリップレール・ペナントプレートを取り付けてください。まず、プレートの裏のラベルを参照してどのサイズのペナントプレートであるかを確認してください。ペナントプレートがA、BまたはCであるならば、図1で示すようにドリップパン・ペナント・プレートを下からペナント・プレートに合うようにセットしてください。ハンガースタッドが図に示されるようにU-ブラケットと同じサイドに有ることを確認してください。Dサイズのペナントプレートの場合は、ドリップパンの上面をペナントプレートの75mm下に取り付ける必要があります。
- b) パンを洗浄できるように、スプリングラッチを引き抜いてハンガーより取外せます。

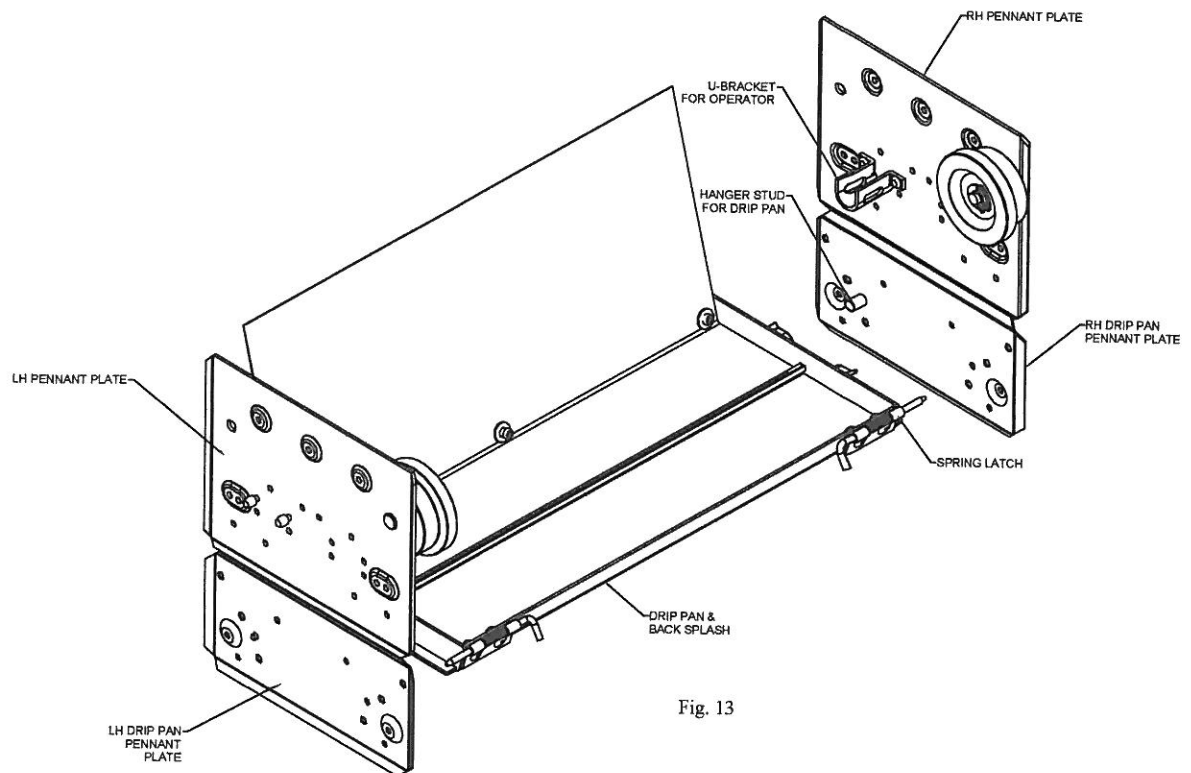


Fig. 13

ドレンホースの取付け(オプション) :

- a) 合うことを確認するためにドリップパンを一度設置し、その後取外してオプションのドレンホースを取付けてください。
- b) ドレンホースを取付けたいドリップパンの場所に 9mm の穴をあけてください。
- c) 真鍮製のインサートのフランジ下面にシリコンシーラントを少し塗布し、ドリップパンの上面からそれをドリップパンに押し込んでください。ホース先端から約 50mm のところにクランプを取付けたホースをパンに接触するまで真鍮製のインサートに差し込んで下さい。ホースを止めるためにホースクランプを上に変位させてください。

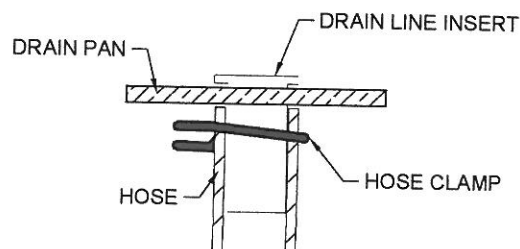


Fig. 14

13. 引下げロープの取付け (オプション)

引下げロープの取付け：図に示されるように、ペナント・プレートの下の室内開口高さのところに、引下げロープの末端をボルト或いは鉄板ビスとワッシャー（別に支給される）で固定してください。必要により場所を変更したい場合は、締め付け部先端の輪状コネクタを調整することができます。

引下げロープ握りの調節：両方のネジをゆるめて、握りを希望するところに上下してください。それからネジを締め直してください。

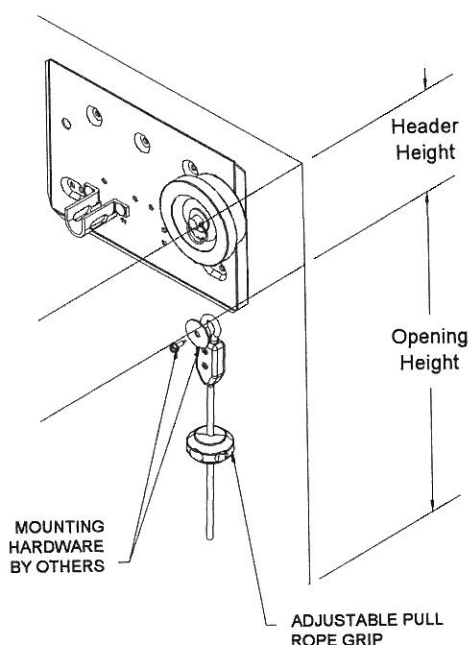


Fig. 15

14. ドア開閉のテスト

ストライカブロックよりリフトバーを引出し上にあげてシャッタを開けてください。シャッタを閉めるときは、リフトバーよりもむしろボトムレールの上面を指で引き下ろしてください。ドアがきついか、開閉するのに大きな力が必要である場合は、付録の洗浄と保守、張力調整を見てください。

注：

このシャッタは実質的にはメンテナンスフリーです。定期的にシャッタがスムーズに動くかチェックしてください。ドアの開閉ができない場合は、トラックの位置をチェックして、締め付けを確認し、そしてトラックを清掃してください。メンテナンスに関する事項については、付録を見てください。

この製品にはいかなる種類の油またはグリースも使用しないでください。注油が必要な場合は、ドライシリコンスプレー（非石油系）を推薦します。